

玉川地区農業委員だより

何れは誰もが耕作ができなくなりそうです。

「自分ができなくなっても、次の
耕作者が決まっていれば安心だ!!」

高齢になり耕作ができなくなっても、後の耕作者が決まっていれば安心です。耕作者が決まっていれば農地は農地として荒らすことなく耕作され続けます。地域の住環境も守れます。そのためには、エリアごとに10年先の耕作者を想定した耕作者地図を作り、地域・集落等と共有します。

エリア座談会「秋の陣」を開催します。

持続可能な農業・農村集落を目指し第2回目のエリア座談会を左記日程により開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。今から予定に入れていただきご参加ください。

開催期日	対象エリアの目安
10月29日(火)	神之原、荒神、粟沢
11月1日(金)	山田、穴山、菊沢
11月2日(土)	田道、中沢
11月5日(火)	上北久保、北久保、子之神

開催場所 玉川地区コミュニティセンター
開催時間 午後2時から(90分を目安)



自分たちの農業・農地を「どのようにしたいのか」「そのためには自分たちにできることは何か」を話し合い、皆で将来に向けた方向性を共有する取組です。

農地の未来予想図を描きましょう

昨年実施した耕作意向調査結果を基に、今年2月に開催しました農業・農地の「第1回エリア座談会」では、農業生産が抱える様々な課題を整理して、それに対する対策案を話し合いました。

出された案を基に農業委員・推進委員と事務担当者で大まかな玉川地域の「耕作者未来予想図(目標地図)」の原案を作成しました。この原案について更に「専業農家、兼業農家、自家消費耕作者、地主、これから農業を始めた方」等々の多くのみなさんに協議していただき、意向を反映させた内容にします。

みんなで目指す在るべき姿のためには

- ☆集落沿いは自家消費者に充てよう
- ☆このエリアは稲作主体にしよう
- ☆エリア内毎に可能な限り専業農家に集約化していこう
- ☆農業を担う若者や新規就農者の要望を優先しよう
- ☆この畑地帯は基盤整備をして野菜生産を主体にしよう
- ☆ここは耕作条件が悪いので粗放的利用箇所にしよう

などの目標を出し合います

みなさんの意向で作成した耕作予想地図は、地域計画として位置づけられます。

でも、本番はここからです。

計画はここがスタートで、ゴールではありません。目標を達成させるため「毎年見直し、進化させます」その主役はあなたです。

地域計画

- 10年後に目指す地域の農地利用(目標地図)
- 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標
- 農用地の集積・集約化の取組
- 農業用施設の整備に関する取組
- JA、サービス事業体等による農作業受託等の活用方針